

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0035-0811, サービス名称: PCAクラウド, 事業者名称: ビー・シー・イー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2018/7/17
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 ビー・シー・イー株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 1980年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 38年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル
	事業所数(国内、国外)		必須 国内:12拠点	
	主な事業所の所在地		必須 東京都、北海道、宮城県、埼玉県、神奈川県、静岡県、愛知県、石川県、大阪府、岡山県、広島県、福岡県	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 中小中堅企業向け基幹業務用コンピュータソフトウェアの開発・販売。インターネットを利用した基幹業務ソフトウェアの開発・販売・保守。
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 佐藤 文昭
			代表者写真	選択 記述有り(*)
			代表者年齢	選択 記述有り(*)
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択 記述有り(*)
7	役員	役員数	選択 記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名	選択 記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 記述有り(*)
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 8,960,471千円(2018年3月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 記述有り(*)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 890,400千円(2018年3月期)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述有り(*)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 記述有り(*)
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択 記述有り(*)
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0035-0811, サービス名称: PCAクラウド, 事業者名称: ビー・シー・エー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	記述有り(*)
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	記述有り(*)
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	記述有り(*)
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	記述有り(*)
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	記述有り(*)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	記述有り(*)
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称	必須○	システム管理規程
			上記の書類の経営陣による承認の有無		有: 会社代表者による承認
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの文書名	選択	記述有り(*)
		上記の書類の経営陣による承認の有無		記述有り(*)	
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの文書名	必須	有: 販売管理規定	
		上記の書類の経営陣による承認の有無		有:	
- サービス基本特性					
27	サービス内容	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	PCAクラウド
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2008/5/30
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		2012/10/3
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス	
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	「PCAクラウド」は、長年に渡り中小企業向け基幹業務パッケージとして親しまれている「PCA 会計」シリーズのクラウド型サービスです。財務会計・給与計算・人事管理・就業管理・販売管理・仕入在庫管理・固定資産管理・非営利法人会計(医療・建設・社会福祉・公益)・所得税・消費税・法人税の計14タイトルでサービスを提供する、パッケージソフトとクラウド型システムの両方のメリットを兼ね備えた、新しいタイプのネットワーク型基幹業務システムで、自社にサーバーを置く必要が無く、インターネットに接続したパソコンに専用ソフトをインストールするだけで、手軽にネットワーク運用が可能となります。「PCAクラウド」ではパッケージ版とのデータ互換性や、業種に特化した認定ソリューションパッケージソフトとの連携など、数多くの特長があります。初期費用を抑えてネットワーク運用を行いたい中小企業様には最適な基幹業務システムです。	
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		無:	
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	アドオンカスタマイズが可能(一部ソフトのみ)	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0035-0811, サービス名称: PCAクラウド, 事業者名称: ビー・シー・エー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
32	サービスの 変更・終了	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	必須○	3ヶ月前
		告知方法		Webサイト (http://pca.jp/pcacloud) 及び電子メール
		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	無し
基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略	無し			
33	サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無	必須	有: お客様データのローカルドライブへのバックアップのお願い
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有: サポートセンター 月～金 (祝日/当社指定休日を除く) 9:30～12:00 13:00～17:30
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	Type毎にディスク容量の制限有り。 Type1とType2は1GB、Type6は2GB、Type12は4GB、Type24は8GB、Type48は16GB、Type72は24GB
		固定部分の課金方法		アプリケーション及びホスティング費用として課金
36	サービス 料金	初期費用額	必須	イニシャル〇〇プラン: 0円 買取プラン: 108,000円(税込)
		月額利用額		Type1(1CAL利用)で月額14,580円(税込)～
		最低利用契約期間		2ヵ月間
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	利用開始から2ヶ月に満たない料金を一括でお支払い
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有: 解約希望月の1ヶ月前の20日までに当社受領
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	99.9998767%(2016年9月1日～2017年8月31日)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン1 対策参照値 99.5%以上
		サービス停止の事故歴		3回(2016年9月1日～2017年8月31日) 2016年11月26日: 機器障害(4分間) 2017年3月21日: 機器障害(4分間) 2017年4月3日: 機器障害(4分間)
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0035-0811, サービス名称: PCAクラウド, 事業者名称: ビー・シー・エー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
42	サービス品質	認証取得・監査実施	選択	記述有り(*)	
43		個人情報の取扱い	必須	個人情報は製品に関する情報提供、サポートサービスに関する情報提供、弊社が主催するセミナー・イベント情報などをご提供する場合に使用	
44		脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述有り(*)
			診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述有り(*)
45		バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	1日1回
			世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	3世代
46		バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述有り(*)
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述有り(*)	
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	「クラウド利用共通規約」に記載しております。お客様が利用中のサーバーの月間稼働率が99.95%に満たなかった場合は、お客様の当月分の月額利用料金の10%に相当する金額をお客様に減額又は返金します。また、当月1日から当月末日の1ヶ月の間に延べ24時間以上サービス停止となった場合は、1ヶ月の利用料金の100%に相当する金額をお客様に減額又は返金します。(いずれもプリペイドプランのお客様に対しては、返金対応のみ) なお、月間稼働率とは、お客様が当月中に利用した全サーバーにつき、以下の数式により得られる値です。 月間稼働率=(月間総稼働時間-累計障害時間)÷月間総稼働時間×100 ※仮想サーバー単位の運転時間を合計して計算しております。運転時間、稼働時間、障害時間には0時から5時は含まれません。	
49	サービス利用量	利用者数	選択	記述有り(*)	
50		代理店数	選択	記述有り(*)	
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	PCAクラウド	
		主要ソフトウェアの概要	必須	ブラウザを使用せず、専用クライアントソフトを使用したアプリケーション。パッケージソフトと同等の操作性・機能性を実現し、パッケージ版データとの互換性あり。	
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	ビー・シー・エー株式会社	
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		記述有り(*)	
54	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	10分	
		障害時の利用者への通知時間		障害確認後6時間以内	
55	障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有:	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0035-0811, サービス名称: PCAクラウド, 事業者名称: ビー・シー・エー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
56	セキュリティ	時刻同期	必須	ntp
57		ウイルスチェック	必須○	有 ・エンドユーザーからクラウドサービスサーバーへのファイルアップロード、ダウンロード、メール送信は発生いたしません。 ・サーバー環境へアクセスするPCIにはウイルスチェックソフトを導入しています。
58		記録(ログ等)	必須○	有: 保存期間 3年間
59		セキュリティパッチ管理	必須○	パッチの内容を確認し、検証後に必要に応じて適用。
- ネットワーク				
60	回線	推奨回線	必須	インターネット回線
			必須	データセンターと利用者とのユーザ接続回線についてはユーザの責任。
61		推奨帯域	必須	有: 100Mbps以上
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	パソコン: Windows10/Windows8.1/Windows7SP1/WindowsVista SP2
		利用するブラウザの種類	必須	ブラウザは利用しない。
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	必須○	有: ファイアウォールによるフィルタリング
64		不正侵入検知	必須	有: ファイアウォールにて不正アクセスのログを記録し定期的に確認をしています。IPSにて不正アクセスを自動遮断しています。
65		ネットワーク監視	選択	記述有り(*)
66		ID・パスワードの運用管理	必須○	有
67		ユーザ認証	必須○	ID・パスワードによる認証
68		管理者認証	必須○	有:
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	有: 専用クライアントを用いたSSL接続
70		その他セキュリティ対策	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0035-0811, サービス名称: PCAクラウド, 事業者名称: ビー・シー・イー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- ハウジング(サーバ設置場所)					
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	関東および関西いずれもデータセンター専用建物
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例: 関東、東北))	必須	日本: 関東および関西地域
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須	関東: 震度7相当に対応 関西: 震度6強相当に対応
	免震構造や制震構造の有無		関東および関西いずれも免震構造		
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須	関東: UPSあり。10分間供給可能。 関西: UPSあり。10分間供給可能。
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須	関東: 66kVの本線・予備選受電方式 関西: 22kV3回線
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須	関東: 自家発電装置有(連続36時間運転可能) 関西: 自家発電装置有(連続32時間運転可能)
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須	関東および関西いずれも窒素ガス消火設備
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須	関東: 有り。熱および煙感知器に加えマシンルームには超高感度煙感知を設置。 関西: 有り。高感度煙検知器+熱検知器
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須	関東: 共通接地方式避雷針×16本 関西: 避雷針設置
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須	関東: 特高変電設備に特高アレスターを設置。低圧配電盤・UPS出力分岐盤・動力盤にサージ・プロテクティブ・デバイス(SPD)を設置。 最大対応電圧: 非開示 関西: 避雷導体は躯体の鉄骨を利用した「構造体接地」とし、避雷用接地極として建物躯体下にメッシュ状導体を埋設しており、雷電流の大地への流出に伴い大地電圧が上昇することによる電位差の発生を抑制し、障害を発生しにくい設計としている。 最大対応電圧: 非開示
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択	記述有り(*)
82	セキュリティ	入退館管理等	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	必須	関東および関西いずれも記録有り、12ヶ月
			監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		関東: 記録有り、12ヶ月 関西: 記録有り、12ヶ月
			個人認証システムの有無		関東: 静脈認証システム 関西: 虹彩認証システム有り
83	セキュリティ	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	関東: 有り 関西: 有り
			保管管理手順書の有無		関東: 有り 関西: 有り
84	セキュリティ	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)		選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0035-0811, サービス名称: PCAクラウド, 事業者名称: ビー・シー・エー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	PCAクラウド ヘルプデスクあり。契約者様専用の問い合わせ窓口となるため電話番号は公開していません。
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無:
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	月～金 (祝日/当社指定休日を除く) 9:30～12:00 13:00～17:30
		メンテナンス実施時間		担当者による窓口対応の為、無し
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)	選択	記述無し(*)
		放棄率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	操作方法や障害時トラブルへの対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話・FAX
89	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	冗長化
90	事故発生時の責任と補償範囲	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称	必須	有:クラウド利用共通規約
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	1ヶ月前
		告知方法		電子メールもしくはWebサイト
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有:
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有:
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	有:弊社ホームページ上にサービス稼働率を掲載

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。